

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	登録販売者対策講座Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 金曜日 1,2限	教室名	4校舎502教室
担 当 教 員	駒井 亘・藤原 裕行	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
登録販売者資格の取得は、必須のものです。この資格を取得できるか否かで今後の就職等が大きく変わってきます。9月の登録販売者試験に必ず合格するように1年次に学んだ第3章を中心に復習と確認試験を実施します。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点×0.7 + 出席点20点 + 平常点(小テスト)10点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医薬品登録販売者試験対策テキスト 発行所:(株)じほう プリント						
《授業外における学習方法》						
テキストには十分に目を通し、各地の過去問も積極的に解いてください。						
《履修に当たっての留意点》						
1年次からの第1章、第2章、第3章前半だけでなく、第3章後半、第4章、第5章についてもテキストを熟読しておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、1年次までの理解度を確認することができる。	配布資料	課題の見直し	
		各コマにおける授業予定	1章、2章についての実力確認問題を実施する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	医薬品概論、医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因について復習する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	適切な医薬品選択と受診勧奨、薬害の歴史について復習する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	人体の構造と働きについて復習する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習	
		各コマにおける授業予定	薬が働く仕組みについて復習する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	症状からみた主な副作用について復習する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	精神神経に作用する薬について復習する。①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	精神神経に作用する薬について復習する。②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	呼吸器官に作用する薬について復習する。①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	呼吸器官に作用する薬について復習する。②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	胃腸に作用する薬について復習する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	心臓などの器官や血液に作用する薬について復習する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	排泄に関わる部位に作用する薬について復習する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	婦人薬について復習する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	内服アレルギー用薬について復習する。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	登録販売者対策講座Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 金曜日 1,2限	教室名	4校舎502教室
担 当 教 員	駒井 亘・藤原 裕行	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>登録販売者資格の取得は、必須のものです。この資格を取得できるか否かで今後の就職等が大きく変わってきます。9月の登録販売者試験に必ず合格するように1年次に学んだ第3章を中心に復習と確認試験を実施します。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>試験素点×0.7 + 出席点20点 + 平常点(小テスト)10点</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>医薬品登録販売者試験対策テキスト 発行所:(株)じほう プリント</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>テキストには十分に目を通し、各地の過去問も積極的に解いてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>1年次からの第1章、第2章、第3章前半だけでなく、第3章後半、第4章、第5章についてもテキストを熟読しておいてください。</p>						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容		
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標 課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習		
	各コマにおける授業予定	鼻に用いる薬について復習する。				
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標 課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習		
	各コマにおける授業予定	眼科用薬について復習する。				
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標 課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習		
	各コマにおける授業予定	皮膚に用いる薬について復習する。				
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標 課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習		
	各コマにおける授業予定	歯や口中に用いる薬について復習する。				
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標 課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習		
	各コマにおける授業予定	禁煙補助剤、滋養強壮保健薬について復習する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	公衆衛生用薬について復習する。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	一般用検査薬について復習する。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保などに関する法律の目的などについて復習する。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品の分類・取扱い、販売業許可について復習する。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品販売に関する法令順守について復習する。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品の適正使用情報について復習する。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品の安全対策について復習する。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	医薬品の副作用等による健康被害の救済について学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	課題確認を実施し、現在の理解度を把握、その対策を立てることができる。	配布資料	事前課題の見直し、終了した内容についての復習、本時の該当範囲の予習
		各コマにおける授業予定	一般用医薬品に関する主な安全対策、適正使用のための啓蒙活動について学ぶ。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	登録販売者の試験に対して合格基準に到達することができる。		これまでの復習をしておく
		各コマにおける授業予定	総復習。		